横浜市立 吉原小学校

令和 4 - 6 年度版 中期学校経営方針 (令和 5 年度修正)

「自ら学ぶ意欲に満ち、豊かに関わり合い、たくましく生きる子」 ~かがやき ひびきあい はばたく子~ 学 【知】学びの基礎・基本を確実に身につけ、粘り強く、自ら進んで課題を解決する子を育てます。 校 【徳】自他を尊重し互いの良さを認め、自分の行動に責任をもてる規範意識やルールを大切にする子を育てます。

な 【体】自分や他者の生命を大切にし、健康な心と体を自ら積極的に作ろうとする子を育てます。

【公】まちの一員として地域社会の中で共に学び合い、自分の役割と責任を理解して社会に貢献する子を育てます。 【開】コミュニケーション能力を高め、周りの人たちと良好な関係作りのできる子を育てます。

| | | | |

概要

 学校
 創立 57 周年
 学校長 根岸 慶
 副校長 小林 秀樹
 2 学期制 一般学級: 18 個別支援学級: 4

児童生徒数: 560 人 主な関係校: 港南中学校 桜岡小学校

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力

○学びを通して、自己肯定感を高め、自ら学ぼうとする 態度や意識

〇人と豊かに関わるために必要な社会性やコミュニケー ション能力

○粘り強く取り組み、たくましい未来を創造する力

重占取組分野

港南中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 育成を目指す資質・能力を踏まえた 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
港南中学校 桜岡小学校 吉原小学校	自ら学び、人と豊かにかかわり、持続可能な社会を創造する子ども 〇9年間を見通したカリキュラム編成・実施・評価・改善を行い、主体的・創造的に学ぼうとする児童生徒を育成 〇9年間の人権教育や児童生徒の協働的活動を通して、多様性を認め、共生しようとする態度・意識を穏やかに、確実に醸成 〇社会的知性・情動的知性を醸成し、持続可能な社会を創造する意識と能力を兼ね備えた児童生徒を育成

〇学校教育目標の実現とともに、子どもにとって「学校が安心して楽しく過ごせる場所」となるように次の取組目標の具現化に努め 中 ます。

具体的取組

- 明・授業づくりの工夫・改善を通して、基礎・基本となる学習内容の定着を図るとともに、問題解決能力を育てます。
- **取**・自分も友だちも大切にできる人権感覚を身につけ、相手を思いやり、自他を尊重する心情や態度を育てます。
- ▋ ・「吉原小スタンダード」の定着を通して、基本的な生活習慣を身につけるとともに規範意識を育てます。
- <mark>目</mark>・積極的に学校の情報を発信して、保護者・地域の信頼を得られる関係づくりに努めます。

	里 点取組分野	具体的取組	
知	生きてはたらく知	①各教科、基礎・基本となる学習内容を確実に身につけます。 ②問題解決に粘り強く取り組み、他者との関わりの中で考えを広げ、深めることができる子を育てます。 ・授業研究会 ・研修会 ・よしはらタイム ・授業時間の弾力的運用	
担当	教務部・授業改善・研修部	ANNOTATION OF THE MANAGEMENT O	
徳		①児童一人ひとりに自尊感情を育てるとともに、友達を大切にできる人権感覚を身につけます。 ②特別支援教育コーディネーターが中心となり、特別な支援や配慮が必要な児童をチームで支援します。 ③児童に丁寧に寄り添い、児童の課題や困り感の解決、問題行動の未然防止・早期発見・早期解決に組織的 に取り組みます。 ④代表委員会を活用して、よりよい学校づくりを児童が中心となって考えます。	
担当	児童指導・特別支援部・特活部	・人権週間・外部機関との連携・チームでの児童支援・生活アンケート・代表委員会	
体	健やかな体	①すべての教育活動を通して、児童に基本的な生活習慣や食習慣が身につくよう指導します。 ②児童が楽しく、意欲的に運動に取り組めるように体育科学習や環境整備の工夫に努めます。 ・スタンダード ・食育指導 ・体育科学習 ・運動集会 ・保健週間	
担当	体育部・保健・栄養部		
公開	地域学校 協働活動	①学校の情報を積極的に保護者・地域に発信し、理解・協力を得られる関係づくりに努める。 ②学校と保護者・地域が連携・協働して、学校目標の実現に向けて、教育活動の工夫改善に取り組んでいく。 ・学校だより ・HP ・タイムライン ・学校運営協議会 ・地域・学校協働本部 ・学校評価アンケート	
担当	教務部	子はたちり 1 アイムノイン 子は建台協議会 地域 子は協動本品 子は計画/ファイ	
l	いじめへの対応	①いじめは絶対に許さないという風土づくりに努めます。 ②児童支援専任教諭を中心に、いじめや問題に対して組織的に対応します。 ・いじめ防止委員会 ・生活アンケート ・保護者面談	
担当	いじめ防止対策委員会	1.000 加工安貞去 エルノンノート 休夜日田吹	
組	人材育成・ 織運営(働き方)	①職員一人ひとりが自らの資質・能力の向上を目指し、目標をもって職務に取り組みます。 ②業務の工夫・改善を通して、放課後の時間を児童理解や授業力向上に活用します。 ・目標設定・振り返り ・管理職との面談 ・業務改善	
担当	教務部•管理職	日禄改と派が返り、日廷城との曲談、「木切以日	
	安全教育	①災害や事件・事故が起きた時に、状況に応じて適切に行動できるようにします。 ②ICT機器を活用するにあたり、それらとの適切な関わり方やモラル・マナーを身につけます。 ・各種避難訓練 ・不審者対応訓練 ・交通安全教室 ・情報モラル教育	
担当	安全環境部·ICT部		
担当			
担当			
担当			
担크			